

令和3年度（2021年度） シラバス

教科	芸術	科目	美術 I	1学年	必修	1単位
科目の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ「、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。					
教科書	高校美術1・116－日文		副教材	適宜		
準備物						

1 学習目標と評価（どのような力を、どのレベルまで身に付けるか）

観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	創造的な音楽表現の技能	音楽表現の構想と工夫	鑑賞の能力	音楽への関心・意欲・態度
旭東DP	【認知力】	【表現力】 【創造力】	【共感力】 【分析力】	【行動力】
割合	40%	30%	10%	20%
A	創造的な造形表現をするために、基礎的な能力をいかし、効果的な表現の技能を身に付け、表すことが十分にできている。	造形のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫することが十分にできている。	日常生活の造形の効能や造形の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、造形のよさや美しさを創造的に味わうことが十分にできている。	美術の創造的活動の喜びを味わい、美術の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組むことが十分にできている。
評点	33～40	25～30	8～10	17～20
B	創造的な造形表現をするために、基礎的な能力をいかし、効果的な表現の技能を身に付けて、表している。	造形のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	日常生活の造形の効能や造形の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、造形のよさや美しさを創造的に味わっている。	美術の創造的活動の喜びを味わい、美術の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
評点	17～32	13～24	4～7	9～16
C	創造的な造形表現をするために、基礎的な能力をいかし、効果的な表現の技能を身に付けて、表わすことが不十分である。	造形のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫することが不十分である。	日常生活の造形の効能や造形の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、造形のよさや美しさを創造的に味わうことが不十分である。	美術の創造的活動の喜びを味わい、美術の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組むことが不十分である。
評点	～16	～12	～3	～8
評価方法	・作品（スケッチ、下描き） レポート	・作品・アイデア スケッチ・週程計画・レポート	・レポート	・アイデアスケッチ・レポート

2 学習計画（いつ、何を学ぶか）

月	単元名	具体的な学習内容
4	【オリエンテーション】	・美の体感・美の力を感じる心を培う。
5	【デッサン】	想像力は行動性・社会性・人間性を育み生きる力＝喜びにつながる。
6	①鉛筆紙	・授業の進み方・用具の理解・技法・効果
	②グリザイユ描法	・油絵による単色表現
7		油絵具の理解、独特で効果的な表現（混色・重色・溶油・透明・不透明）面のとらえ方・立体としての存在感。
8	【静物画】	・構図の理解・表現の効果と工夫
9	油絵具・キャンパス	絵画表現は自己表現
10		
11	【デザイン】	・形・光・実在感・色彩・マチエール
12		・合理的美的な効果・工夫と発見、生活化
1	【工芸】	・造形活動の返遷＝生活・文化
		・レリーフ的表現
2		・技法と工夫・用具の理解と安全
3	【まとめ】	一年間の学習を振り返り、次への発展を考える

3 学習方法（どうやって学ぶか）

・美術を学ぶことは、上手に描く技術を取得するのではなく、美術の中にある力を体感することです。想像力は創造力です。自己表現から自己変革へ。（世界観、人生観を考え、自分自身の考え方、生き方の基本を問うことです。）

・デッサンすることはものの見方（見る姿勢・光と陰影と立体感・見え方）を理解することで、表現力の発掘・発見となり、向上・発展になっていきます。

・描く、造ることは自分を表すことです。個性的な表現は自分自身の理解、主張であり、作品は真の価値です。

・先人や友人の作品の鑑賞から、アドバイスを受け、向上・発展した作品になります。

・美術作品に日頃から関わることで、自分なりの観点をもち、深めていき、生活への生かし方を学びましょう。

・「油絵」を描くことで、美術文化の変遷を理解し、独特の効果と力に触れ、自分の作品作りの工夫と発展に繋げていきましょう。